

**カテゴリ9 (No127~No128)**

**ターミナル**

**看取り・生活継続中**

## 訪問リハ事例

No.127

重度呼吸障害者の看取りに訪問リハで関わった

事例	74歳男性・要介護3・特発性間質性肺炎・COPD・HOT（安静時7L/分、労作時9L/分） 生活歴：会社員、全国で支社を立ち上げる 本人希望：呼吸を楽にする	経過 50歳からCOPD。65歳、右気胸手術。68歳、HOT開始。同年、間質性肺炎の急性増悪、右気胸手術。71歳、左胸膜炎、肺高血圧で入院し、退院後訪問リハ開始。
----	--	--

開始時の状態と活動・参加	実現したい生活目標（予後予測）	アプローチ後の活動・参加
生活空間は居室内、1日の大半をベッド上で過ごす。移動は独歩。食事は居室机、排泄はPトイレ、入浴は清拭のみ。毎朝自主運動を行う。活動はSpO2 = 90%以上で実施。月に1回程度通院に外出する。親戚、友人の訪問あり。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期間でも在宅生活を送る</li> <li>・呼吸が楽になる時間を持つ</li> </ul>	退院後半年間は通院のための居室内、玄関までの歩行（連続10～20m）を継続する。以降移動は車椅子。亡くなる1ヵ月前までは妻の介助で自動車に乗り専門医まで通院し、亡くなる2週間前まではポータブルトイレで排便を行う。食事は最期まで経口で行い、体調に合わせた体操も継続する。2年2ヵ月で在宅看取りとなる。
強み評価	リハアプローチ内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・妻の献身的な介護、支援者がいる（子・孫・親戚・友人）</li> <li>・生きる気持ちが強い、慎重</li> <li>・訪問Nsがケアマネを担当</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○訪問リハ（週3回）</li> <li>呼吸リハ（歩行練習、コンディショニング、ADL・自主運動指導、メンタルケア）</li> <li>○家族支援 介護方法の指導、傾聴</li> <li>○チームアプローチ</li> <li>担当者会議（治療・生活・介護・機器）</li> </ul>	
	    	

まとめ	CRPが高い状態の上、高流量の酸素療法（リザーバースマスク）を使用しての退院に本人・家族の不安は強く、当初は在宅生活が短期間になると予想された。本人の希望や病状に応じて行った呼吸リハが呼吸を楽にすること（SpO2回復）につながり、心身のコンディショニングサポートとセルフマネジメント強化につながった。2年2ヵ月の在宅生活を継続し、亡くなる前日までリハを実施している。	分類 9
-----	---	---------

## 訪問リハ事例

No.128

終末期を安心して家族とともに過ごすことができた

事例	75歳男性・要介護3・胆のうがん 生活歴：理髪店経営 本人希望：自宅にいたい・家族に伝えたい	経過 自宅内移動できていたが、腰椎骨転移により下肢不全麻痺。在宅での見取り希望。主治医より寝たきり状態になるため苦痛なく過ごせるように訪問リハ開始。
----	--	---

開始時の状態と活動・参加	実現したい生活目標（予後予測）	アプローチ後の活動・参加
両下肢不全麻痺、感覚脱失、疼痛あり。尿閉によりバルーン使用。寝返り一部介助。介護ベッド（2モーター）のため背上げにて下方ズレあり。食事は軽度ギャッジアップにて摂取。	環境調整を行い、介助方法見直しと指導を行い、苦痛なく過ごし、自分の思いを家族へ伝える時間が持てる	薬物治療に合わせて環境調整を行うことで疼痛緩和、安楽に過ごすことができた。また、家族が触れ合う手段としてマッサージを指導し、覚醒している時間に思い出話などをしたり、家族とのコミュニケーションを促すことができた。思い出の写真を飾ってもらい、孫が来訪して家族でいろいろ語り合える時間が持てた。
強み評価	リハアプローチ内容	
	①環境調整（介護ベッド・エアーマット） ②介助方法見直しと指導（家族・職員） ③姿勢調整（安楽姿勢、ポジショニング） ④本人の精神面の支援（思いを聞き、家族へ伝えたいことを一緒にまとめ、伝える） ⑤家族の精神面の支援（マッサージなど指導、触れ合いの時間確保）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりがある</li> <li>・優しい</li> <li>・家族全員から尊敬される人</li> <li>・玉子焼きが上手</li> </ul>		

まとめ	心身の状態に合わない環境を再選定実施。導入後新しい環境での介助指導実施。姿勢調整を行い、疼痛緩和や褥瘡予防を図り、逝去時には発赤もなく他界。家族との触れ合いや語らいの時間を確保することができ、家族からは『いろいろ話ができ』『体に傷もなくきれいな状態で昇天できた』とコメントがあった。強みを活用しながらプラン実施できたと考える。	分類 9
-----	---	---------